

1 「例」にならって、次の文を文節に区切り（／）、その後、単語に分けよう（・）。（・）
そして、自立語に——線を引こう。

〔例〕 私・は、／冷たい／水・で／顔・を／洗う。

- ① 裏山・に／珍しい／野鳥・が／いる。
- ② 山頂・から・の／眺め・は、／とても／美しい。
- ③ 鏡・の・ような／湖・の／風景・を／絵・に／描く。
- ④ 彼・は／森・を／守る／活動・に／参加し・ます。
- ⑤ ノート・に／黒板・の／文字・を／丁寧に／書き写し・た。

2 「例」にならって、次の文の中から、活用する単語を抜き出そう。

〔例〕夜空の星が美しく輝く。

- 活用する語 (美しく 輝く) ()
- ① 引き出しの中に古い手紙がある。
活用する語 (古い ある) ()
 - ② 夕日が都会のビルを鮮やかに染める。
活用する語 (鮮やかに 染める) ()
 - ③ 谷間からわき出る地下水は非常に冷たい。
活用する語 (わき出る 冷たい) ()
 - ④ 料理に必要な調味料がない。
活用する語 (必要な ない) ()
 - ⑤ 弟に問題の解き方を詳しく説明した。
活用する語 (詳しく 説明し) ()

3 次の文の——線部の単語の分類を下から二つずつ選び、記号で答えよう。

- ① 山から涼しい風が吹いてきた。(ア・ウ)
- ② 急に大きな音がして、驚いた。(ア・エ)
- ③ 祖母の誕生日に花束を贈った。(イ・エ)
- ④ もし晴れたら、出かけよう。(ア・エ)
- ⑤ お茶、あるいは、水を飲む。(ア・エ)
- ⑥ さあ、私と踊りましょう。(ア・エ)
- ⑦ あの古い建物は銀行です。(イ・ウ)
- ⑧ 弟は熱帯魚を飼育している。(ア・エ)
- ⑨ ゴールを目ざして必死に走る。(ア・ウ)
- ⑩ 早朝の公園はとても静かだ。(ア・ウ)

ア	自立語
イ	付属語
ウ	活用する語
エ	活用しない語